

# Cisco UCS Manager および Cisco UCS Central Software による Cisco UCS 管理



## メリット

- 日常業務を自動化することで運用を合理化し、サポート コストを大幅に削減します。
- 柔軟性と効率性を向上して、IT チームの俊敏性とビジネスへの対応力を強化できます。
- 幅広いサードパーティ製管理ツールとの統合により、DevOps への移行を簡素化します。
- データセンター、クラウドスケール、およびエッジスケールのワークロードの管理を統合します。
- ローカル ストレージを含む、ネットワーク接続された数千台ものサーバを管理およびサポートできる拡張性を備えています。
- 統合 API、Python ソフトウェア開発キット (SDK)、および Cisco UCS PowerTool (Microsoft Windows PowerShell 向け) を使用して環境をカスタマイズできます。

## 日常的な運用の自動化と合理化

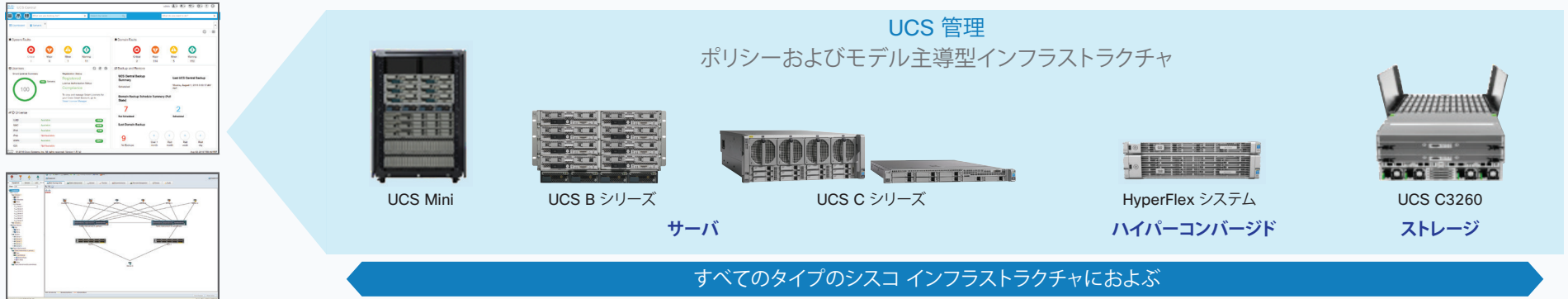
Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) 管理ソフトウェアは、ポリシーベースの自動化機能とロールベースのアクセスにより、データセンター インフラストラクチャを規模に応じて効率的に管理・運営できるように支援します。この緊密に統合された管理ソリューションは、Infrastructure as Code に対応した DevOps に適したアーキテクチャを特長としており、すべてのコンポーネントがプログラム可能です。また、コンピューティングとローカル ストレージ リソース、およびストレージとネットワーク接続のプロビジョニング、モニタリング、管理などの日常のプロセスを簡素化するモデルベースの基盤を提供します。Cisco UCS 管理ソフトウェアでは、ソフトウェア定義型ポリシーを使用します。このポリシーで接続、コンピューティングおよびファームウェア設定を 1 度定義すれば、次回からは常に同じ設定で展開できます。ポリシーベースおよびモデルベースのアプローチによって、意図した構成から逸脱しないように環境を管理できます。

また、設定時間の短縮、柔軟性の向上、一貫性の確保、および手作業設定によるエラー発生リスク軽減などのメリットがあります。

Cisco UCS Manager には、関連するストレージおよびネットワークを含め、Cisco® [Unified Computing](#) と [ハイパーコンバインド インフラストラクチャ](#) のコンポーネントに対する統合管理機能が組み込まれています。コンポーネントは、次のとおりです (図 1)。

- Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ
- Cisco UCS C シリーズ ラック サーバ
- Cisco HyperFlex™ HX シリーズ ハイパーコンバインド インフラストラクチャ
- Cisco UCS C3260 ラック サーバストレージ
- Cisco UCS Mini

図 1. Cisco UCS および Cisco HyperFlex ポートフォリオのすべてをサポートする Cisco UCS 管理



## 投資を保護しながら変化を推進

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS ドメイン全体を対象とした一元管理を実現します。Cisco UCS Manager のソフトウェア オブジェクト モデルと XML API は、Cisco Fabric Interconnect と連携して Infrastructure as Code に対応します。このアプローチによって、サーバ、ネットワーキング、およびストレージ リソースをプロビジョニングするためのポリシーベース モデルが促進され、物理インフラストラクチャに最適な設定を適用できるようになります。

Cisco UCS Central Software を使用すると Cisco UCS Manager の能力が拡張され、最大 10,000 台のサーバを 1 つの管理コンソールからサポートできるようになります。このソフトウェアでは、サービス プロファイル、プール、ポリシー、およびファームウェアの設定機能を使用して、複数の分散するドメインを管理します。そのため世界規模での作業が容易になります。インフラストラクチャを一元的に管理できると同時に、コンピューティング能力はユーザの近くに配置されます。

Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central Software はどちらも、使いやすい HTML 5 のユーザ インターフェイスを提供します。Cisco UCS Central のマルチドメイン ダッシュボードでは、インベントリ、システムの状態、障害情報、および統計情報が提供されます。このダッシュボードには、キーボード、ビデオ、マウス (KVM) によってアクセスできます。ドメインを最初にセットアップするときに、運用ポリシー、ID プールなどが確立されます。ポリシー管理によりグローバル ポリシーおよびサービス ポリシーが提供され、ドメイン全体を通して標準化が容易になります。このインターフェイスを使用すると、数千台規模のシステムにおよぶマルチドメインの複数のデータセンター環境を運用したり、一貫して管理したりすることが可能となり、レポートやファームウェア アップデートといった運用タスクを一元的に管理できます。

API 経由でグローバル リソース情報とポリシーにアクセスできます。複数のドメインにおよぶインベントリ情報、障害情報、および監査情報を収集およびモニタできるため、Cisco UCS インフラストラクチャのサービス保証を実現します。このオープン API は、Cisco UCS Manager と、シスコおよび独立系ソフトウェア ベンダー (ISV) のさまざまなツール (モニタリング、分析、設定、導入、およびオーケストレーション) との統合を可能にします。この API では、Cisco UCS PowerTool (Microsoft Windows PowerShell および Python ソフトウェア開発キット (SDK) 向け) を使用したカスタム開発も容易になります。

Cisco UCS 管理ソフトウェアは、オープンで異種環境に対応するシステムです。従来型のインフラストラクチャとハイパーコンバージド インフラストラクチャの両方をサポートします。Cisco UCS 管理ソフトウェアの統合 API を使用して、Cisco UCS 内のコンピューティング、ストレージ、およびネットワーキング リソースを迅速かつ動的にプロビジョニングできます。この API により、システム、運用、オーケストレーション、および変更管理に関するさまざまなツールと緊密に統合できます。また、より高いレベルのデータセンター管理フレームワークに統合するために、API に記述されたクラウドネイティブなアプリケーションもサポートされています。シスコは、実績のある統合に対する完成度の高いエコシステムを保有し、シスコ ソリューション パートナー プログラムやシスコ相互接続試験 (IVT) プログラムを通じて相互運用性を検証するためのリソースを提供しています。



## Cisco UCS Manager による平均的な削減実績

160 件以上の導入事例を分析したところ、お客様は平均して次の削減を実現しています。

- ・ プロビジョニング時間を 83 % 短縮
- ・ プロジェクト期間を 75 % 短縮
- ・ 日常の運営コストおよび管理コストを 66 % 削減

## 次のステップ

データセンターのリソースを一元的に把握できる仕組みを活用して、シスコと業界トップクラスのパートナーは、お客様がシスコのユニファイド コンピューティング アーキテクチャに移行し、現在の運用を最適化してビジネス ニーズに対応できるよう支援するサービスを提供しています。

詳細については、次のページを参照してください。

- ・ [Cisco UCS Manager](#)
- ・ [Cisco UCS Central Software](#)
- ・ [シスコ ユニファイド コンピューティング](#)
- ・ [Cisco HyperFlex システム](#)